

2016年度 学校関係者評価結果

1. 調査の概要

- ・「学校評価」とは、各学校が教育目標を設定し、達成状況についての評価を行うと共に改善を図るためのもので、学校教育法では幼稚園においても実施することが望ましいとされています。
- ・花園幼稚園では、先生たちによる「自己評価」と、保護者と地域の方々による「学校関係者評価」があります。
- ・今年は、5名の方（保護者、評議員、地域民生委員、卒業生、園医）に評価をお願いしました。

2. 評価結果

- ・評価は花園幼稚園の教育目標などについて、5項目を評価対象としています。

1) 教育目標について

花園幼稚園では、「こころもからだものびやかに」を大きな目標として、次のような子ども達を育てるための保育を行っています。

- (1) 祈りを通して神様と交われる子ども
- (2) 常に感謝し、周りの人を思いやる子ども
- (3) 喜びや悲しみ、美しさを感じるとともに、それを表現できる子ども
- (4) 自然や生き物に親しみ、大切にすること子ども
- (5) 心身ともにすこやかに、たえず成長する子ども

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

2) 保育内容について

花園幼稚園は、次のことを大切にしながら保育を実践しています。

- (1) 祈りと礼拝を生活の中心に据え、神様を知り、感謝する心、他の人を思いやる心を育てる。
- (2) 自由遊びを通し、進んで人と交わる力、創意工夫する豊かな心を育み、人間関係の基本を身につける。
- (3) 園外保育に多く出かけ、さまざまな体験を通し、自然、生き物との触れ合いを持ち、愛する心、感謝の気持ちを育む。
- (4) 芋掘り、パンやクッキー作り、もちつきなどで楽しんだり、身近なものを使った工作や、画を描いたりして作る喜びを味わう。
- (5) 様々な子どもたちが共に育つ環境が必要であるという観点から、通常よりも手厚い支援が必要な子どもも一緒に保育を行っている。

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

3) 地域及び保護者との連携について

花園幼稚園は、地域との連携を大切に、次のようなことを実践しています。

- (1) 地域のお年寄りを招く会やミニコンサートなど地域の人との交わりの場を持っている。
- (2) 未就園児とその保護者のために触れ合いや育児支援の場を設けている。
 - ①「のえんどうの会」（月2回開催）
 - ②「園庭開放」（毎週水曜日開催）

③「親子で遊ぶ会」(每学期1度開催)

(3) 保護者の要望に応え、預かり保育を2016年度は17時まで延長した。また、2017年度は18時までとする予定である。

(4) 保護者の要望に応え、満3歳に到達した子どもを年度途中でも受け入れている。

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

4) 安全・衛生について

花園幼稚園は、子どもの安全と健康の確保のために、次のような体制をとっています。

(1) 園医、園歯科医の方々と連携し、定期的な健康診断を行うと共に、緊急時に対応できる体制をとっている。

(2) 施設・設備の安全点検を行い、施設・設備の不備による危険を防止することを最優先の課題としている。

(3) 教職員が「ヒヤリハット」の事例を相互に報告し、危険を未然に防止するよう努めている。

(4) 避難訓練を月1度行い、地震・火災・風水害に備えている。

(5) 津波への対策として、消防署と連絡を密にし、避難方法についても計画している。

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

5) 教職員の充実について

花園幼稚園は、これらの活動が円滑に進められるよう、また、できるだけ丁寧な教育を行うために、教職員の充実を図っています。2017年度からはかなり体制を強化しますので、2016年度との対比を行います。

(1) 教職員の体制は以下の通り

【2016年度】			【2017年度】		
園長	1名	(週3日勤務)	園長	1名	(週5日勤務)
チャプレン	1名	(非常勤)	チャプレン	1名	(非常勤)
			副園長	1名	(週5日勤務)
主任教諭	1名	(週5日勤務)	専任主幹教諭	2名	(週4日勤務)
教諭	3名	(週5日勤務)	教諭	3名	(週5日勤務)
補助教員	2名	(非常勤)	補助教員	1名	(週5日勤務)
事務職員	1名	(週4日勤務)	事務職員	1名	(週5日勤務)

(2) 教職員の資質向上のための研修や学びの場を設けている。

①日本聖公会や横浜教区が主催する研修会

②私立幼稚園協会が主催する研修会

③その他、園内での研修や自主的な研修

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

3. 頂いたコメント一覧

1) 教育目標について

- ・子どもが日常の生活の中で神様の存在を意識し、人や物、食事に感謝する気持ちを持ったり、倫理観を確立している様子が垣間見え、人格形成される幼児期を花園幼稚園で過ごせる事のありがたみを強く感じる。病欠したお友だちをいたわる気持ち、「早く良くなりますように」「神様が見

ていてくれるからきっと良くなるよ！」と自ら自然に声を掛ける姿を見て、とても感動した。

- ・花園幼稚園の子ども達に対する愛情が伝わってくる教育目標で、とても良いと思います。
- ・私の孫が二人、当幼稚園にお世話になりましたが、お友だちのめんどろをよく見て、仲よく遊び、周りの小さい生き物も大切に、のびのびと成長しています。

2) 保育内容について

- ・様々な分野への視野を広げ、子どもが家庭生活の中でも、幼稚園でのそういった経験をもとに興味・関心を持つようになった。また、家庭ではなかなか経験できないうどん作り、クッキー作りなどを園でやらせて頂けるところがとてもありがたい。
- ・花園幼稚園での思い出がよみがえってきました。とても素晴らしいと思います。
- ・社会とのつながりを無意識のうちに身につけるため、今日の新聞の中から興味のあることとお話するなどいかがでしょうか。
- ・他の幼稚園が受け入れない子を保育されているのを見てきましたが、周りの子どもたちはみな一緒になって楽しく遊んでいました。とても良い幼稚園だと思います。
- ・年長になったら、名前の練習、「あいうえお」の練習は必要だと思います。各家庭でやっていると思いますが。

3) 地域及び保護者との連携について

- ・延長保育の時間が長くなったり、母親のリフレッシュにも活用することができるようになり、延長保育がとても身近なものになった。夏期休暇中も保育を展開してくださり、仕事を持つ親にとっては画期的な制度で非常に助けられた。保育の内容、担当して下さる先生方の対応も、普段の保育と同じ位に手厚く、子ども達は延長保育を心から楽しんでいました。次年度も引き続き、更なる充実を期待したい。花園幼稚園外からも関心を集め、他園に通う母親達から「他園の者だが夏休みだけでも一緒に利用できないか」「今は保育園に通わせているが、来年からは花園に通わせる」といった声も聴かれた。
- ・今はほとんどのお母さん方が働いているので、保育の延長が必要になったのですね。先生方が大変だと思いますが、頑張ってください。

4) 安全・衛生について

- ・海が近いので自身の津波対策が不安。大地震が来て、津波が発生した場合、園児が全力で動いても、道路が混雑すること、建物が倒壊していることを想定すると、南分署まで無事にたどりつけるのか心配。避難訓練以外に子ども達が津波から確実に逃げられる方法はないだろうか。
- ・避難訓練はとても大事なもので、月1回行っているのは大変良いと思います。

5) 教職員の充実について

- ・園長が5日勤務になったのは良いと思う
- ・園の先生方が一体となって、学年の区別なくとても丁寧に見ていただいていると感じる。多くの先生に見守られていることを子ども自身も感じ、安心感を持ったり、学年が上がる際に他の先生が担任になる事に対して不安感がなく、「次は〇〇先生かな」と期待感を持ったりしている。自分の担任の先生以外ともたくさん交流があり、なじみが深いのだと感じた。
- ・花園幼稚園の皆様のみならずのご活躍を心よりお祈り申し上げます。
- ・時間外保育が増えてきたので、教職員も増え、大変でしょうけど子ども達のために頑張ってください。